

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回坂戸市自殺対策計画審議会
開 催 日 時	令和5年7月10日 13:30～15:00
開 催 場 所	坂戸市民健康センター機能訓練室
会 長 の 氏 名	三ヶ田 猛
出席者（委員）の 氏名・出席者	河内祐介 山路真佐子 小島慎介 大竹智英 森田博恵 竹原陽一 三ヶ田 猛 武藤真紀 内藤武 鹿島貴彰 井手和夫 松原愛子 力石まり子 坂田勉 計14名
欠席者（委員）の 氏名・欠席者	新井勇 1名
傍 聴 者 数	0名
事務局職員の 職・氏名	こども健康部長 井上 晋 こども健康部次長兼こども支援課長 三谷 良昭 こども健康部副参与兼市民健康センター所長 有田 さおり 市民健康センター副所長 倉持 雅史 市民健康センター副所長 片桐 美佳 市民健康センター成人保健係係長 小鹿野 史昭 市民健康センター成人保健係主任 荒巻 優 市民健康センター成人保健係主任 横田 英花
地 域 計 画 (株)	中林大樹
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 審議事項 (1) 生きるための支援施策に関連する事業の実施状況について 【資料1-1、1-2、1-3】 (2) 第2次坂戸市いのち支える自殺対策計画策定に係る「こころとからだの健康に関する市民アンケート」の結果について 【資料2】 (3) 子育て世代に関するアンケート調査結果について【資料3】 (4) 第2次坂戸市いのち支える自殺対策計画骨子案について 【資料4】 4 その他 5 閉会
配 布 資 料	<事前配布> 資料1-1 令和4年度生きるための支援施策に関連する事業の実施報告 資料1-2 令和4年度生きるための支援施策に関連する事業の実施報告 資料1-3 令和5年度生きるための支援施策に関連する事業の事業計画 資料2 こころとからだの健康に関する市民アンケート調査報告書 資料3 子育て世代に関するアンケート調査の結果について（完成版）

	<ul style="list-style-type: none"> 資料4 第2次坂戸市いのち支える自殺対策計画（骨子案） 資料5 第2次坂戸市いのち支える自殺対策計画策定スケジュール（令和5年度） <p><当日配布></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度第1回坂戸市自殺対策計画審議会次第 坂戸市自殺対策計画審議会委員名簿
	議 事 の 経 過
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	令和5年度第1回坂戸市自殺対策計画審議会を開会します。（出席者14名、欠席者1名、坂戸市自殺対策審議会条例第6条第2項の規定により会議は成立）
事 務 局	審議事項（1）説明
委 員	資料1-2、重点施策No.48について、対象者150名に対し、参加者16名でD評価となっている。PRの強化をしていくとあるが、今後どのような周知を行っていく予定か。
事 務 局	担当課へ報告し、後日回答させていただきます。
委 員	資料1-3、No.48については若者が対象だが、若者以外を対象とした就業支援や面接会は実施しているのか。
事 務 局	ふるさとハローワークにおいて、様々な就労の機会を説明、パンフレットやチラシを掲載等で周知をしています。
事 務 局	審議事項（2）説明
事 務 局	審議事項（3）説明
事 務 局	審議事項（4）説明
委 員	女性への支援という項目が追加されているが、何故女性だけに限定されているのか。
事 務 局	女性は2年連続死亡率が増加していることから、自殺総合対策大綱に女性への支援について項目が追加されています。 大綱の内容を踏まえ、坂戸市としても女性への支援施策を重点施策に追加しております。
委 員	埼玉県と比べて坂戸市は低くてよかったというような内容ではなく、学校や高齢者と連携してどうするのか、子育て世代で健診に来ていない人たちはどうしているのか、そういった部分が大切である。 貧困、生活苦、一人親、母子家庭、不登校、そういったところで悩まれている人をもっと探っていく必要がある。 市役所内で横の繋がりを持って連携して子どもの健康を色々な面からみて自殺対策、こころとからだの健康対策をしていかなければいけないと思う。
事 務 局	ご意見ありがとうございます。 乳幼児健診は、坂戸市は3ヶ月児健診、1歳半健診、2歳児歯科健診、3歳児健診があり、だいたい88%から92%くらいの受診率です。市民健康センターとしましては健診未受診者の方は、色々な問題を抱えて

	いる場合もあるため、訪問でアプローチをしております。 訪問で会えない場合は、保育園に就園しているかの情報収集を行い、把握は100%を達成しております。
委員	原因・動機別自殺者割合を全国・埼玉県と坂戸市を比較するには対象が大きすぎる。例えば、坂戸市の自殺の特徴を踏まえた推奨される重点施策として「生活困窮者」が挙げられており、原因・動機別自殺者割合の経済生活問題の部分が全国12.7%と比較して坂戸市14.8%と高くなっている。 統計として裏付けが取れている部分については、明記した方がわかりやすいと思う。
事務局	ご意見を踏まえて検討していきたいと思います。
委員	資料1-3重点施策、16ページのNo.46について実施予定日が令和2年8月24日となっている。誤りではないか。
事務局	担当課へ報告し、後日修正させていただきます。
会長	意見を反映させた骨子の方を作成して次回開催の審議会においてご報告させていただくことでよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
事務局	第2回の審議会の日程ですが、令和5年10月を予定しております。
会長	以上で本日の審議事項については終了いたしましたので議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。
事務局	以上をもちまして令和5年度第1回坂戸市自殺対策計画審議会を閉会します。ありがとうございました。